

第60回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2015年7月12日（日） 13:40-17:20 私立海城高校

2 参加者

渡邊、根本、畠山、瀧上、宮嶋、南島、上村、藤原、小林、田口

3 新委員の承認

田口康博氏（千葉県立銚子高校・地質学会、世話人会推薦）を新委員として承認した。

4 前回議事録案の承認

原案の通りに承認された。

5 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審関連

・教育課程企画特別部会（5/25、6/23）の内容について、「高等学校等における教科・科目の現状・課題と今後の在り方について（検討素案）」を基に説明がなされた。

○理数系学会等

・6/29の理数系学会連絡協議会にて、デジタル教科書に関して文科省から情報教育学会に意見聴取があったことが報告された。また、理数系学会は9/15に文科省から意見聴取があるが、これまで通りデジタル教科書導入に反対の姿勢で臨むことが報告された。さらに、11/8に理数系学会が主催してシンポジウムを行う予定であることが報告された。

○教育検討委員会関連

・女子中高生のための実験講座が8/7に国立婦人会館で開催される予定であり、連合として畠山委員が講師を務めることが報告された。

○その他

・地学オリンピックの協賛金がほぼ目標の2400万円に達したことが報告された。
・地学教育研究集会（代表：竹本修三氏）が8/29、30に大阪・高槻市で行われる予定であり、教育課程小委員会で小中高の地学教育の講演内容について検討するよう依頼があったことが報告された。

6 協議

(1) 連合大会、パブリックセッションの総括について

- ・フューチャーアース構想を掲げての地理系との合同開催によって、参加人数が増えることを期待したが、防災セッションと同時時間帯の開催となったことから、参加者が分散したと考えられる。なお、延べの参加人数は150人くらいであった。
- ・次年度については、なお、今年度のフューチャーアースセッションでの代表コンビーナであった氷見山氏が、来年度の代表コンビーナとしてセッション提案を行う方向で話を進めている。

(2) 京都大学防災研・地学教育研究集会の企画について

参加者（発表代表者）とそのテーマを下記のように決定した。数字は講演順

- 1 センター試験・地学基礎の分析（上村）
- 2 教科書の用語の不統一問題（根本）
- 3 JpGU地学基礎アンケート調査結果（小林）
- 4 次期学習指導要領改訂への動き（宮嶋）
- 5 中学校理科教科書・高校生物教科書の問題点（畠山）
- 6 ABC案のその後（藤原）

(3) 次期学習指導要領改訂への対応について

高校理科の科目設定について、現在の段階では先の動きが見えないので、当面、教科書の用語の不統一問題について、できることから検討を進めることで合意した。

教科書の用語の洗い出しについては、各社地学基礎の教科書の索引に挙げられた用語について、データベース化をまず行うことを決定した。次回小委員会において具体的な作業を進めることとした。

7 次回小委員会

8/12（水）、10:30より、私立海城高校にて行うことを決定した。